



東海村

議会だより

第34号

2018.10

目次

9 月定例会

平成 29 年度決算を審査しました P2

議会トピックス P3

小中学校普通教室へのエアコン設置 / 街頭防犯カメラの設置

賛否の分かれた議案、討論 P4

村政を問う！〔一般質問〕 P5 ～ 11

12 月定例会日程（予定） P12

議会の豆知識 P12

9月議会 あらまし

平成30年第3回定例会（9月議会）は、8月31日に開会し、10月1日までの会期で開催しました。一般質問は9月10日から12日の3日間、12人の議員が質問を行い、また、13日から20日にかけては、予算決算委員会で補正予算と決算を審査し、10月1日に議案審議を行い閉会しました。

議案審議では、小中学校へのエアコンや街頭防犯カメラの設置を含む一般会計の補正予算をはじめ、病児・病後児保育施設の指定管理者の指定や建設工事、文化センターや総合体育館など文化・スポーツ施設の設備更新や整備工事に関する議案など、20件をすべて可決し、また、平成29年度決算の認定では、一般会計・特別会計・企業会計すべての決算を認定しました。

※賛否の分かれた議案は4ページに掲載

全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



村のお金の使い方を *check!* 平成29年度決算を審査しました

9月議会では、前年度の決算（収入・支出の実績）について審査を行います。

これは、議会が決定した予算について、執行の効率性や効果を審査・評価するもので、東海村議会では、一般会計予算決算委員会と特別会計予算決算委員会において審査します。

ここでは、委員会が出された決算に対する意見の一部を紹介します。

※「決算審査」の説明は、P 12 議会豆知識もあわせてご覧ください。

一般会計

歳入

歳出

192億円 / 185億円



意見と今後留意すべき事項

- 職員の時間外勤務が増加傾向。削減につながる抜本的な制度改革を検討すること。
- 施設設備の不具合は、利用者の利便性を第一に迅速に対応すること。
- 事業の検証を十分に行い、不用となる額を早期に減額補正することで、予算を有効に活用すること。



特別・企業会計

国保／介護／
下水道／病院
など

全10会計



意見と今後留意すべき事項

- 県域化がスタートしたことから、引き続き滞納額の縮減に努めること。〔国民健康保険会計〕
- 水の安全確保を第一に、コスト削減に努めること。〔水道会計〕
- 常勤医師の減少を認めず引き続き医師確保に努め、村民ニーズに合った診療体制の充実を図ること。〔病院会計〕



委員会では、村執行部から説明を受け、質疑をしながら審査します。

議会 トピックス

議会で議決した議案などの内容から、特に生活に関わりのある事柄を紹介します。
今回は、可決された一般会計補正予算に含まれる2つの事業です。

トピックス①

小中学校の環境改善！

普通教室へのエアコン設置 来年夏から供用開始

近年、夏の暑さは厳しさを増しており、これまで議会の一般質問でも教室へのエアコン設置を求める意見がありました。そのような中、国の基準^注が見直されたことに加え、今年夏の「災害レベル」の暑さもあったため、来年6月から使用できるようエアコンが設置されます。

事業内容

設置教室数：約 200 室（普通教室・特別教室）

エアコンの調達方法：10年間のリース方式

予算額：年額 6,100 万円（最大）※設計・設置・保守点検含む。

注

文部科学省「学校環境衛生基準」が本年4月に見直され、「教室における望ましい温度」が30℃以下から28℃以下とされました。



9月定例会

トピックス②

街頭防犯カメラの設置 茨城国体の開催に向け、安全・安心の醸成を

来年の茨城国体の開催に向け、犯罪の抑止や犯罪発生時の的確な対応に有効な街頭防犯カメラが、県の補助を活用し設置されます。
〔設置工事予算額：9,862 千円〕



- ① 国体・障スポ大会競技会場の周辺交差点等
- ② 交通インフラから競技会場へのアクセス道路上



住民の身近に起きる犯罪、不安に感じる事案の抑止等に効果が期待できる場所等



No.	名称	路線	No.	名称	路線
①	二軒茶屋交差点	国道6号 / 原研通り	⑦	東海駅東口広場	
②	東海駅西口交差点	もみじ通り / 駅西大通り	⑧	東海駅東口交差点	駅東大通り
③	東海駅西口広場		⑨	東海高校入口交差点	はなみずき通り / 動燃通り
④	舟石川小入口交差点	もみじ通り / 動燃通り	⑩	阿漕ヶ浦入口交差点	国道 245 号
⑤	遠間交差点	かえで通り	⑪	原子力機構前交差点	国道 245 号 / 動燃通り
⑥	合同庁舎前交差点	はなみずき通り / 原研通り			

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい											みずずの会				公明党		無会派		結果		
	鈴木 昇	飛田 静幸	村上 邦男	舩井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	新垣麻依子	江田 五六	恵利 いつ	清宮 寿子	阿部 功志	岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子		村上 孝	
議案第58号	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決	
議案第60号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
認定第1号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第2号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第3号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第4号	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定

○…賛成

×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第58号	東海村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
	国の基準の改正に伴い、共生型地域密着型サービスに関する基準を追加するための一部改正
議案第60号	平成30年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	平成29年度実質収支の確定に伴い、必要な予算措置をするもの
認定第1号	平成29年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	平成29年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	平成29年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	平成29年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

討

論

議案第58号

東海村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

政府の「65才以上の障がい者は、原則介護保険優先」という前提による共生型地域密着型サービスは、自己負担の発生など高齢障がい者に不利益をもたらすため反対。

議案第60号

平成30年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

国保の県域化にかかる交付金収入及び事業実績等システム変更のための支出金に反対。県域化され税引き上げが強まれば被保険者を医療から遠ざけることにつながる。

認定第1号

平成29年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について

小・中学校普通教室へのエアコン設置について、設置の方向性を持ちつつ年間通じて全く予算化せず具体化に着手しなかった事は反省すべき。必要性を感じた事業は独自の判断と見極めが重要。今後に生かすべき。

認定第2号

平成29年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

国保県域化に向けて税徴収強化が意識された決算であり容認できない。資格証明書や短期保険証の発行、督促発生と同時に税務課への滞納整理依頼は中止し、丁寧な納税相談、被保険者の体調確認等が重要。

認定第3号

平成29年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

基礎控除後の総所得金額が58万円以下の場合の所得割額の軽減が5割から2割に改悪された決算のため反対。今後更に改悪が進められることは問題。

認定第4号

平成29年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

国が進める「医療と介護の一体改革」、「互助サービス」への移行等により、保険料徴収は強化され、一方で給付は削減という悪政を推進した決算であり認められない。

討論とは… 本会議で自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

無会派 大名美恵子 議員

村政を問う!

一般質問

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長など執行部に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

笹嶋 士郎 議員

- 1 待機児童解消について
- 2 東海病院の問題について
- 3 今後の小学校のあり方
- 4 (仮称) 歴史と未来の交流館整備の進捗状況

寺門 定範 議員

- 1 農地集約について
- 2 農業公社の検討状況
- 3 広域避難計画について
- 4 公園の車椅子対応トイレ設置

阿部 功志 議員

- 1 原発事故で住民が避難しなければならない法的根拠は
- 2 原発事故での避難で、避難してから先の計画を策定する見通しは
- 3 災害時の職員の出勤体制は
- 4 小中学校教室へのエアコン設置、進捗状況は
- 5 小中学校における高温対策の指針は

大名 美恵子 議員

- 1 放課後対策等デイサービスなどの利用状況
- 2 本村の学童保育の実態及び今後の充実
- 3 小・中学校の普通教室にエアコン設置を早期に
- 4 原子力安全協定(従来及び新)の運用
- 5 広域避難訓練の評価及び避難計画案への反映に関する考え方

武部 慎一 議員

- 1 道徳教育に係る評価の考え方
- 2 いじめ防止対策推進法公布から5年/スクールコンプライアンスの検討が必要では
- 3 外国人児童への日本語教育/語学研修制度などが必要では
- 4 SOCIETY 5に向けた人材育成/人口減少への対応と超スマート社会に向けて
- 5 村全体を俯瞰した総合管理計画の見直しに向けた検討状況は
- 6 東海村における地質情報 DB の現状/危険地帯地質情報等の活用

江田 五六 議員

- 1 超高齢化社会における東海病院のあり方
- 2 村所有地のボランティアによる草刈り作業
- 3 (仮称) 歴史と未来の交流館について

恵利 いつ 議員

- 1 少子化社会における村立学校の将来ビジョン
- 2 文化センターの長寿命化計画
- 3 安全な飲み水・農業用水確保のための認識を高めるために「(仮称) 久慈川サミット」開催を
- 4 文書管理や記録管理はどのような基準の下に行われているのか

植木 伸寿 議員

- 1 学校教育の取り組み
- 2 ヘルプマークとヘルプカード導入への考えは
- 3 選挙投票率向上への取り組みは
- 4 地域福祉への取り組みは
- 5 改正児童扶養手当法に基づく取り組みは

村上 孝 議員

- 1 本村の農業基本計画の推進状況
- 2 農地集約に伴う基盤整備の進め方
- 3 ブロックローテーションによる生産調整の在り方
- 4 農業就労者の維持や確保のための施策
- 5 日本型直接支払制度の創設

清宮 寿子 議員

- 1 原子力事故時災害対策の準備状況は
- 2 歴史と未来の交流館建設は住民の理解を得ているか

舩井 文夫 議員

- 1 公文書を含めた文書管理
- 2 東海村総合計画の経過
- 3 人口の見通しについて
- 4 自治会制度について
- 5 区画整理事業の清算について
- 6 駅周辺の環境整備と無電柱化

岡崎 悟 議員

- 1 骨髄ドナーへの助成
- 2 自転車保険について
- 3 ブロック塀の安全対策
- 4 高齢者への熱中症対策

※青字の質問を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

問 2歳児未満の小規模保育の実施を

答 多様な保育について検討を進める



新政とうかい
笹嶋 士郎 議員

問 4月1日から9月1日時点で入所保留者、待機児童が増えている。児童が入所できない、また、兄弟姉妹で別々の保育所に振り分けられた保護者は、大変困っている。この解消には、2歳児未満の小規模保育を実施し、アイヴィルや駅前などに保育ステーション（一時預かり）を設置して、シャトルバスで各保育所に送り届けるなどの政策を展開すべきである。

答 比較的短時間で設置することができ、0歳児から2歳児に限定した小規模保育施設の開

設や、既存施設の有効活用など、早期解消に向け検討を進めていく。小規模保育については、過去に民間事業者からの照会があり、候補施設の検討を行ったが条件に合う物件がなく、実現に至らなかった。

問 2歳児未満の小規模保育を民間が出来なければ、村が行えばいいこと。他自治体が出来ないことをすることが、「東海村らしさ」ではないのか。

答 多様な保育の提供について、あらゆる角度から検討を進める。



駅前保育所を要望したアイヴィル

問 農業公社は、既存法人の協力必須

答 既存組織との連携を含め検討する



新政とうかい
寺門 定範 議員

問 農業が抱えている後継者問題や耕作放棄地対策の一つとして、農業公社設立の検討がある。公社設立には、採算性の確保が大きな問題である。特に、新規に法人を立ち上げることは、初期の設備投資、人の確保などの大きな問題があり、実現にはハードルが高い。村内には、既存の農業法人や農業関連企業がある。ここには、人材と機材が一定程度揃っている。ゼロからの公社設立ではなく、この既存組織の協力を得ていくことが、必須と考えるがどうか。

答 平成26年度より、農地保全を目的とした農地の受け皿となる法人等（仮称）農業公社」の設立検討を始めた。当初は、新規に法人を立ち上げることで検討を始めたが、初期投資、採算性や人の確保などかなり課題が大きいことから、新規法人立ち上げをリセットした。村内では、既存の農業法人や農業関連企業ができており、既存組織とどう連携するかが重要と考える。連携の在り方を含めて検討する。



石神外宿地区で今年から始めた
飼料用デントコーン栽培

問 避難しないと罰則、 憲法違反では

答 国民の権利は尊重されなければ



みすずの会
阿部 功志 議員

問 根本的な質問。そもそも住民が、一企業が起こす原発事故という不始末に全生活を賭けてつきあわねばならない根拠は何か。避難しなければならぬ法的根拠は。

答 原子力災害対策特別措置法、災害対策基本法の規定の読み替えて、人の生命・身体を原子力災害から保護するため。

問 避難しないと罰則、これは憲法違反の疑いがある。罰則の正当性は憲法に照らしてどうだと村は捉えているか。

答 憲法で規定する国民の権利等は尊重・擁護されなければならない



7月の避難訓練
暑かった藤代南中体育館

問 い。罰則は司法の問題。どれも問いをずらし、答えになっていない。村は村民を守る視点を持って避難計画を作っているのか。

答 避難訓練の実施等により、安全確保の実効性向上に努める。

問 小中学校教室へのエアコン設置は

答 来年6月までに小中8校すべてに

問 小中学校普通教室へのエアコン設置の進み具合は。

答 8校すべての普通教室・特別教室に来年6月の供用開始を目途に進める。12月ごろにはリース契約をしたい。

問 人間らしい 居住空間の避難所を

答 人道対応の国際基準を参考にする



大名 美恵子 議員

問 真に人間らしい居住空間となる避難所のあり方を追求する役割が村長にはある。

県の広域避難計画を補充させつつ村の計画案を練ることが重要。浜岡原発が立地する静岡県は、複合災害を想定し、第一次避難所が使えない時の二次避難所も県までだ

が示している。避難所の一人当たりのスペースは3㎡を有効面積の目安としており、また人道NGOが策定した



半径30km圏内に人口約96万人
避難するには困難が大きい東海第二原発
(排気筒左側)

スファイア基準では3.5㎡としている。

静岡県の広域避難計画やスファイア基準を参考に、本村の避難計画案の実効性確保に努めてはどうか。

答 人道対応に関する国際基準とされるスファイア基準は、内閣府策定の「避難所運営ガイドライン」においてもその考え方が取り入れられており、また静岡県の例も参考にしながら、状況に応じて本村の避難計画案に反映させていきたいと考える。

問 総合管理計画 見直し状況はいかに

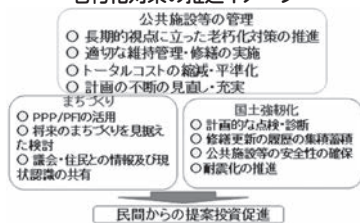
答 計画推進会議で優先順位等を検討



新政とうかい
武部 慎一 議員

問 社会インフラの継続に向けた地方自治体のコスト管理計画の基本となる個別施設の情報収集と、個別計画の検討状況はいかに。また、この社会インフラの維持管理に関する考え方、対応方針等の考え方、個別の管理計画等を完了させ、それらの優先順位等を定めることが必要。全ての事業の必要性を見直し、事業終了を明確にした上で新たな総合管理計画を構築していくことが課題ではないのか、考えを伺う。

公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策の推進イメージ

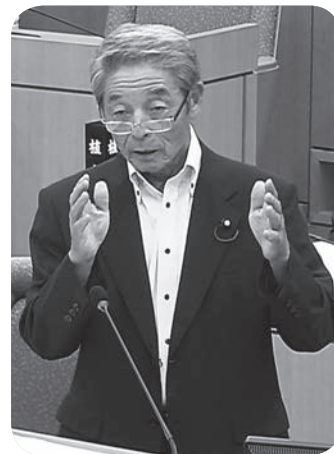


総務省における公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の策定促進に向けた考え方を示したもの。(総務省資料より抜粋加工)

答 計画推進会議を11月に開催し、各施設の取り組み状況を確認し、全庁的な情報共有を図り、より効率的・効果的な公共施設の維持管理に努めていく。現在、施設管理課との内容確認を進めた後、政策会議、議会説明、パブリックコメント等を経て今年度中の個別計画策定を目指している。計画の実行性を高めるため、今年度から企画経営課に業務を移管し、リーダーシップを十分に発揮し、ファシリティマネジメントを推進していくことが重要と考えている。

問 少子高齢社会 交流館建設は必要か

答 郷土の歴史を伝承する施設は必要



みすずの会
江田 五六 議員

問 現在の「仮称」歴史と未来の交流館」建設予定地は、震災後の耐震のない中央公民館をさら地にして、生涯学習機能を備えた施設と中央公民館を造るはずだった。なぜ生涯学習センターから交流館に変わったのか。

答 震災復旧を最優先に生涯学習センター計画は白紙としたが、文化財の適切な保存・活用と子どもたちの健全育成の機能に特化した施設整備を行うこととし、議会の議決を得て交流館建設のための用地として取得したものである。



建設工事費が議決される前の樹木伐採は論外

問 建物を作る前に理念を語るべき。これからの少子高齢社会に16億円もの建設費と100億円近い維持管理費をかけるだけの交流館は必要があるのか。少子高齢社会を視野に入れた対応が必要と考える。

答 基本計画に掲げた基本理念は現在も変わっておらず、どのような社会になっていったとしても、東海村という郷土の歴史・自然を伝承していくための施設は必要である。

問 文化センター、今後の計画は

答 これから更に 30 年間利用していく



みすずの会
恵利 いつ 議員

問 文化センターは、築40年経過した。これからの計画を伺う。

答 長寿命化計画を立て、今後30年にわたる改修工事等のスケジュールを作成。可能な限り「利便性の向上」に向けた施設改修を検討する。

問 「利便性の向上」の一つとして「障がい者にやさしい」という点がある。障がい者に優しいことは、一般の住民にも優しいということ。どのような文化センターを目指すのか。

答 長寿命化のための工事を計画的に行い、その他は利用状況を勘



文化センター横、プレハブの中央公民館「使い勝手が悪い」との声があるが、10年間のリース契約終了後も利用予定

案しながら検討する。

問 経年劣化対策は、長寿命化として当たり前のこと、文化センターは他の建物と違って特別の機能や快適性を求められる建物。これまでの対策の延長では、使い勝手の悪い建物になりかねない。高齢化社会では、誰もが使いやすい多様性に対応できるような建物が求められる。部分改修では効率が悪いいため、大規模改修が望ましいと考えるが。

答 利用状況やニーズ、運用面の工夫、費用対効果など総合的に勘案し、検討する。

問 学習指導要領の具現化は

答 複数の視点から関連性をもたせる



公明党
植木 伸寿 議員

問 村では、昨年示された学習指導要領について、ESDやSDGsなど、どう推進するのか伺う。

答 ESDやSDGs双方に共通しているのは、自然環境と人々の暮らし、エネルギー問題など、複数の視点から関連性をもたせ、現代社会の課題を考えるとところである。その意味では、地域の達人から生きた知恵を学ぶコミュニティ・スクールの姿は、まさに持続可能な開発のための教育そのものと捉えられる。持続可能な社会づくりに求められる資



村松小学校のコミュニティ・スクールの様子
地域の方々と共に学ぶ交通安全授業

質・能力は何か、そのための教育活動の在り方等を検討することが第一と考える。

問 指導要領では、知識や技能だけでなく生きる力を育むことや、教科横断的に学ぶことにより主体的・対話的で、深い学びの実現に向けても示されている。考えを伺う。

答 現代社会の課題を意識しながら授業をつくり上げ、その中で児童生徒が身の回りの問題と結びつけて考える場を作るなど学校現場の積み重ねを通して、どの部分を結びつけて学習すればよいかを考えていく。

問 農地集約の 基盤整備の進め方は

答 国の農地整備事業を活用する



村上 孝 議員

問 坏土地改良区内の農地基盤整備は、実施から50年近く経過し、給水設備、排水設備、暗渠設備、排水路が荒廃している。農地を集約し優良農地として次の世代に引き継ぐためには、農地の基盤整備が早急に必要と考えるがどうか。

答 耕作条件の悪い農地の基盤整備を行い、分散した農地の集積集約を一層推進することを目的に、農地中間管理機構関連農地整備事業が創設された。この事業は、地権者である農家の負担無しで事業を



坏土地改良区の沖田

実施できるが、面積条件として一般地域は10ha以上が対象で、この全ての農地に15年以上の中間管理権設定が必要となり、権限は全て中間管理機構に移管され、換地等についても全て事前に了解をされていることが必要である。事業完了後80%以上を認定農業者などの担い手に集積されることが必要で、事業実施にあたりハードルは高い。まずは県などの関係機関と連携し、地元意向を踏まえながら説明会を実施していく。

問 避難後住民の 生活再建への補償は

答 国県、関係機関と協議し決定する



みすずの会
清宮 寿子 議員

問 原子力事故災害対策における被災者の住居と職業の確保、生活資金の支給等、調達方法と費用額を伺う。

答 国や県、関係機関と協力の下、住宅提供等支援を実施する。費用はその協議の中で整理される。

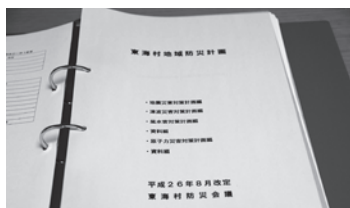
問 計画の実効性を高めるため早急に協議すべき。協議予定時期は。また計画は村の義務について具体的に記述しているが費用の記述は皆無である。理由は何か。また住民が離散している中、被害状況をどう調査し、損害賠償をどこに請求する

かなど、補償の可能性はあるのか。

答 具体的な事は決まっていない。関係機関と協議の上決定される。被害状況は国、県、関係機関と連携して調査する。賠償請求先は福島事故での対応が例になる。

問 村は避難後の住民の生活・生命・財産を補償することを国と事業者に求め、補償内容を精査することを避難計画の項目に加え、より実効性ある避難計画にすべきと思うが考えは。

答 原子力損害賠償制度の観点上、計画への記載はなじまない。



東海村地域防災計画
原子力災害対策計画編は、62頁にわたり村のなすべきことを記載

問 駅周辺の環境設備と 無電柱化は

答 年度内に家屋等の撤去作業を行う



新政とうかい

舩井 文夫 議員

問 駅西広場は、懸案中の懸案であり、残り1軒となった物件移転については契約が成立したが、その後の進展はどうなっているか。また、駅西の無電柱化はどのように考えているか。

答 駅西の駅前広場再整備は、3期に分けて進めており、昨年度は第1期として、ロータリー、周辺歩道、大型バスの待機スペース、植栽等の設置が完了した。残り1軒の物件移転の進捗として、年度内に家屋及び付帯施設の撤去作業等が行われる予定である。村としては、

国体も迫っているため、一日も早く整地工事に着手できるよう努力していく。無電柱化については、都市災害の防止、快適な通行空間等を目的としたまちづくりの重要な施策であるが、道路の占用状況や多額の整備費用などの課題があり、現段階では難しいと考えている。

問 駅西地区画整理事業の終結について伺う。

答 駅西地区については、いろいろ懸案を抱えてきたが、来年の国体に向けて、できるところまで整備を進めていく。



現在の東海駅西口広場

問 民間ブロック塀の 安全確認が必要

答 建築士会などと派遣を協議する



公明党

岡崎 悟 議員

問 村は、防災と減災の視点から、地震に備えて、民間のブロック塀の安全対策に取り組むべき。撤去・改修費用の助成とブロック塀診断士の現地派遣ができないか、伺う。

答 全国の201市町村で、民間所有のブロック塀の撤去費等に対して、補助制度が創設されている。その一方、茨城県には補助制度を創設している市町村はない。村では、東日本大震災の教訓を生かしたまちづくり推進プロジェクトの中で、災害に強いまちづくり

を目指した取り組みのひとつとして、地震発生時に塀の倒壊による道路閉塞を防ぐため、生垣設置補助事業を利用した、ブロック塀等の撤去を推進してきた。ブロック塀診断士の派遣については、木造耐震診断派遣を行っている建築士会などと派遣の可能性について協議し、防災の観点からブロック塀の点検をしていただけるよう働きかけたい。



安全確認はお済みですか？

表紙写真の紹介



照沼小の児童と村松宿こども園の園児による稲刈り会。雨上がりでぬかるだ田んぼに足を踏み入れ、泥んこになりながら地域の方々が大切に育ててくれた稲をみんなで収穫。真崎浦の圃場では、地域と行政、学校とが連携して豊かな田園風景を守り続けています。



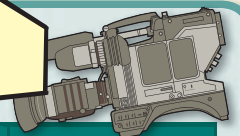
傍聴から はじめよう！

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は
50名

12月定例会日程(予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



期 日	時 間	内 容
12月 3日(月)	午前 10 時～	開会
12月 11日(火)	午前 10 時～	一般質問
12月 12日(水)	午前 10 時～	一般質問
12月 13日(木)	午前 10 時～	一般質問

期 日	時 間	内 容
12月 14日(金)	午前 9 時～	予算決算委員会
12月 17日(月)	午前 10 時～	予算決算委員会
12月 20日(木)	午前 10 時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

議会の豆知識

イモゾーフマニリーと学ぼう

「決算審査」ってなんですか？

9月議会は、決算議会とも言われます。これは、村長が地方自治法の規定による決算調製を経て、議会に前年度の決算を提出できる時期がちょうど9月議会となるためです。



いもマミィ

既読
10:01

お父さん、「決算の審査」ってどんなことをするの？ 既読 10:00

住民の税金である村の予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを、議会が住民の立場で審査・評価することだよ。決算の認定は、予算の議決権と同じように、議会の大事な権限でもあるね。



いもサク



いもマミィ

既読
10:22

議会が決算を認定しなかったらどうなるの？ 既読 10:20

法的な影響はないけど、村長には政治的な責任が残るよね。



いもサク



いもマミィ

既読
10:30

地方の財政は厳しいってよく聞くけど・・・ 既読 10:25

少子高齢化や人口減少が避けられない中では、決算審査は単年度の財政の健全性を確認するだけでなく、中長期的な視点で財政運営に役立つ意見を出すことが必要になるね。だから、議員にはより高度な力量が求められているんだ。



いもサク



いもマミィ

さすがお父さん！ボーっと生きてないわね^_^ 既読 10:35